

沖縄県立久米島高等学校 校舎等保安警備業務仕様書

契約書第3条に基づく警備業務は、本仕様書に定めるところによる。

1. 警備業務委託時間帯

(1) 巡回警備委託時間帯

本業務巡回警備時間は年間 1,380 時間(令和 8 年度)に 20 時間を加算した時間を上限とし、原則以下のとおりとするが、学校行事等を考慮し適宜甲乙協議のうえ変更可能とする。

①巡回警備委託時間帯

ア 月・火・金曜日 7:00～8:30 17:00～20:30 (5 時間)

イ 水曜日 7:00～8:30 17:00～19:30 (4 時間)

ウ 木曜日 7:00～8:30 17:00～21:30 (6 時間)

エ 土曜日・祝祭日 9:00～13:00 (4 時間)

②長期休業期間中(春休み・夏休み・冬休み)

ア 月～金曜日 7:30～8:30 17:00～19:00 (3 時間)

イ 土曜日・祝祭日 9:00～13:00 (4 時間)

(2) 機械警備時間帯

ア 学校職員の勤務時間帯及び巡回警備時間帯以外の時間

イ 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日終日

ウ リフレッシュウィーク 8 月の第 2 週頃に 3 日間

(3) 機械警備業務範囲

警備範囲については、別紙のとおりとする。

(4) 機械警備業務にかかる設置機器

機械警備業務にかかる設置機器は、別紙「機器設置表」を参考とする。

※機器は全て新品であること。

2. 業務内容

(1) 警報機器による、不法侵入及び火災の監視及び異常発報への対処

ア. 警報機器によって伝達される「異常」の有無を受信し監視する。

イ. 警報機器がセットされている状態において、「異常」情報を受信したときは、遅延なく緊急要員を急行させ、異常状態の内容の確認を行うものとする。

その結果、必要と認めたときは、警察・消防等の関係機関への通報を行う。

(2) 巡回警備による業務

ア. 不法侵入、挙動不審者を発見した場合の通報及び排除

イ. 火災及び盗難への対処

ウ. 警報機器のセット、解除

エ. 事務室待機中における来訪者・電話等への対応

オ. 校内の巡視

カ. 校門、通用門及び学校長が指定する出入口の開閉

キ. 戸締まり、照明等の確認

ク. 警備日誌の記入

ケ. その他、甲乙協議の上取り決めた警備に関すること

3. 警備計画書の提出

乙は、警備実施に当たり、あらかじめ巡回方法及び派遣警備員を定めた警備実施計

画書を作成し、甲に提出しなければならない。

4. 巡回警備員の承認

- (1) 乙は派遣する警備員について、甲の承諾を得なければならない。
- (2) 乙は、警備業法第 14 条に規定する警備員の制限及び同法第 15 条に規定する警備業務実施の基本原則を遵守し、派遣する業務員は誠実、かつ健康な者で事前に経歴書、健康診断書の写し、その他必要な書類を提出し、甲の承認を得ること。
- (3) 乙は、人事管理上その他やむを得ない理由により異動交代を行う場合は、事前に甲に報告すること。

5. 警備員に対する責任

乙は、この委託業務に従事する警備員に関する労働関係法令上の一切の責任を負うものとする。

6. 勤務心得

- (1) 常に規律を守り業務の遂行に万全を期すること。
- (2) 警備業務実施中は、それぞれ定められた制服を着用すること。
- (3) 応対は、容儀を正しく懇切丁寧に行うこと。

7. 遺失物の取扱い

警備員は遺失物を発見し、又は遺失物の拾得届を受けたときは、直ちにその旨を、甲に報告しなければならない。

8. 警備業務に要する費用

- (1) 本契約事項の業務に要する機器、器具、材料、消耗品はすべて乙の負担とする。
- (2) 契約期間の終了並びに契約書第 12 条の(1)から(5)に規定する理由により契約を解除する場合の機器等の撤去に要する費用はすべて乙の負担とする。

9. その他

- (1) 機器の設置や巡回警備員の派遣等について、契約開始に支障のないように配慮すること。
- (2) 警報機器は個別警戒区域の状態を個別に監視・判別できるものとする。
- (3) 警報機器の故障等により機械警備が正常に行えない状態においては、故障機器の交換を行う等、速やかにその正常な状態に復旧させるものとする。その場合に要する費用は乙の負担とする。
- (4) 警備業務について、本仕様書に疑義がある場合は、甲乙協議の上対処するものとする。